

Vol. 39
J u l y
2 0 2 3

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

表紙：カヤンガン湖inフィリピン

Topics

JDS帰国留学生が、タジキスタン共和国産業・新技術省副大臣に任命！

▶ 明治神宮参拝ツアーを実施しました

NEW ▶ ほっとひと息：モンゴル

JDS帰国留学生が、タジキスタン共和国産業・新技術省副大臣に任命されました

2023年3月2日、タジキスタン共和国政府令第93号にて、Nazar Aziz Savzali氏(ナザール・アジズ・サヴザリ/国際大学国際関係学研究科/2014年修了)が産業・新技術省副大臣に任命されました。

同氏は、JDS留学から帰国後、在日タジキスタン大使館書記官、外務省対外経済協力局長を歴任後、産業・新技術省副大臣に抜擢されました。在日タジキスタン大使館勤務の4年間は、大使の腹心として、タジキスタンと日本との間の懸け橋となって活躍しました。大使館勤務の後に母国の外務省に戻ってからは、重要なポストに就いて忙しい日々にもかかわらず、JDSの広報活動やイベントにも積極的に参加して頂きました。同氏の更なる活躍が期待されます。



出典：産業・新技術省ホームページ (<https://www.industry.tj/english/ministerstvo/1844/>)

JDSタジキスタン豆知識

タジキスタンにおけるJDS事業は2008年に開始され、2022年までに日本に派遣された留学生数は106名となります。現在はタジキスタンの持続可能な経済発展に向けて、毎年15名のJDS留学生が日本へ送り出されています。JDS留学後、多くの帰国留学生が活躍しており、2020年には6期生のAmonzoda Shirin氏が労働移民雇用大臣に就任し、JDS帰国留学生の中で初めての女性大臣となりました。

明治神宮参拝ツアーを実施しました！

神職から直接、神道及び明治神宮についてのご説明を聴くと共に日本特有の神道の儀式を体験することにより、日本文化理解を深めることを通して、JDS事業の目的の一つである知日派の育成に繋げる事を目的として、2023年5月24日、明治神宮参拝ツアーが実施されました。



当日は東京近郊のJDS留学生8名が参加しました。神道を紹介するDVDを鑑賞した後の質疑応答では、英語で神職による丁寧な解説を頂き、参拝マナーや日本人の信仰の在り方、宗教観についての理解を深める事ができました。参加したJDS留学生の満足度は高く、「特に祝詞や神前結婚式が印象的だった」等のコメントが寄せられました。

ツアー後は代々木公園へ移動し、コロナ禍でしばらく実施がかなわなかったピクニック形式で昼食を取り、初夏の美しい新緑に囲まれながら、JDS留学生同士の交流を図る良い機会となりました。





今回から、皆さまにほっとひと息ついて頂けるコーナーとして、各国のほっとするものをご紹介します。第1号は、草原の国モンゴル。牧畜業により生産された、豊富な乳製品を使ったおやつをご紹介します。

アーロール

ポピュラーな乳製品のヘルシーおやつです。

作り方は、発酵乳を加熱し水分（ホエー）を分離させ、固形分を取り出す。固形分の水分を切り、適度な大きさに切り天日干しをする。様々な乳製品を作る過程で出来るもので、保存性が高い食べ物です。

干しヨーグルト、チーズ等と訳されることもあります。日本でいうチーズとは味も食感も大きく異なります。以前は、酸味が強く「これは…石?!」と驚くほど硬いものが一般的でしたが、現在は甘いものや柔らかいもの、色がついている可愛い見た目のもなど、日本人でも食べやすい様々なバリエーションがあるそうです。1つ頬張ると、私達日本人は今まで味わったことのない、独特な味と香りを体験できるそうですよ。



ボールツォグ



水と少しの塩で練った小麦を発酵させ、食べやすいサイズにして揚げた、揚げパンのようなおやつです。甘さはあまり無く、ゾーヒー（写真右下：ヨーグルトのような乳製品）やジャムをつけて食べたり、熱々のスーテーツァイ（塩味の効いたミルクティー）につけて食べたりします。冷めても美味しいのですが、揚げたての美味しさといったら格別で、一度食べ出したら手が止まらないとか！

常備食として週末に1週間分作りだめし、平日のおやつや朝ごはんにも食べられているそうです。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

5,712名 21カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2022年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

＜事業実施国＞※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画（JDS）は無償資金協力による JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

セネガルの募集選考が6月に修了し、JDS16カ国での2022年度の募集選考がようやく幕を閉じました。コロナ禍の影響を受け、各国での募集選考の開始が遅れ、本来は3月末には終わっていた募集選考が、6月までずれ込むようになってしまいました。8月には留学生の来日が予定されており、現在、慌ただしく来日準備をしています。留学生にしっかりと余裕をもって準備してもらうためにも、23年度こそは、翌年の3月末までに選考が終わることを祈る今日この頃です。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想お待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org